

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2022年3月分)

2022年5月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[ウクライナ情勢をめぐる大統領評議会内の対立\(2日\)](#)

●[大統領評議会議長の交代\(20日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

2. 外交

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[アンタルヤ外交フォーラムの開催\(11日～13日\)](#)

●[ボレルEU上級代表のBH訪問\(16日\)](#)

●[米・EUの仲介による選挙法改正交渉\(17日～20日\)](#)

(2) 二国間関係

●[ベアボック独外相のBH訪問\(9～10日\)](#)

●[ネーハマー澳首相のBH訪問\(18日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[ボスニア・ヘルツェゴビナ空手連盟に対する在外公館長表彰の実施\(3日\)](#)

●[伊藤大使とウナ・サナ県政府首相の懇談\(7日\)](#)

●[2021年度日本語能力試験\(JLPT\)合格者への認定書授与式\(11日\)](#)

●[伊藤大使とオリンピック選手並びにスポーツ界代表との懇談\(16日\)](#)

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

(2) 民間セクター

●[2021年度の対BH外国直接投資額、前年比22.1%増\(31日\)](#)

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●ウクライナ情勢をめぐる大統領評議会内の対立(2日)

BH大統領評議会会合において、ドディック・セルビア系メンバーがウクライナ情勢につき議論することを要求し、BHが中立的立場を取るよう求めた。他2メンバーが要求を拒否したため、ドディックメンバーは会合を退席した。

●大統領評議会議長の交代(20日)

BH大統領評議会議長がコムシッチ・クロアチア系メンバーからジャフェロビッチ・ボシュニャク系メンバーに交代した。議長は8ヶ月ごとの輪番制であり、ジャフェロビッチ議長の任期は2022年11月19日までとなる。

(2) エンティティ、特別区

イ. スルプスカ共和国(RS)

●ドディック大統領評議会メンバーに対する事情聴取(22日)

22日、BH検察庁は、過去のセルビア・ベオグラード市内での別荘購入に係る職権濫用及び資金洗浄容疑で、ドディック大統領評議会セルビア系メンバーに任意の事情聴取を行った。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●アンタルヤ外交フォーラムの開催(11日～13日)

ドディック大統領評議会セルビア系メンバー及びジャフェロビッチ同ボシュニャク系メンバーはトルコで開かれたアンタルヤ外交フォーラムに出席し、BH・NATO・トルコ関係に関する

パネルに登壇したほか、ライチャークEU特別代表、ヴァールヘイ欧州委員(近隣・拡大政策担当)、パホル・スロベニア大統領、エルドアン・トルコ大統領と会談を行った。

また、ジャフェロビッチ・メンバーは、オスマニ・コソボ大統領及びアバゾビッチ・モンテネグロ副首相と会談した。

●欧州議会外交委員会の開催(15日)

欧州議会外交委員会でBH情勢を議題とした会合が開かれ、BH大統領評議会三メンバー及びチョービッチBH議会上院議長(クロアチア系与党HDZ党首)が出席した。

●ボレルEU上級代表のBH訪問(16日)

ボレルEU上級代表(外交・安全保障政策担当)がBHを訪問、主要三民族与党党首と会談し、選挙法改正問題及びBH情勢につき意見を交わした。

また、主要三民族野党党首とも会談し、選挙法改正に関して意見交換を行ったほか、大統領評議会の三メンバーと会談し、BH情勢、BHのEU加盟プロセス、ウクライナ情勢につき意見を交わした。

●米・EUの仲介による選挙法改正交渉(17日～20日)

17～20日、マーフィー当地米大使及びアイホースト欧州対外行動庁(EEAS)西バルカン担当局長による仲介のもと、SDA(ボシュニャク系与党第一党)及びHDZ(クロアチア系与党)を中心に、BH連邦拠点の与野党の党首によるBH選挙法改正交渉が行われた。

しかし、4日間の交渉の結果、SDAとHDZの主張の溝は埋まらず、交渉妥結は次回以降に持ち越しとなった。

(2) 二国間関係

●ベアボック独外相のBH訪問(9～10日)

ベアボック独外相がBHを訪問し、大統領評議会3メンバー、BH議会上下両院議長団、サラエボ、バニャ・ルカ、モスタルの国内主要3都市の市長、シュミットBH上級代表、NGOスレブレニツァ母の会関係者とそれぞれ会談した。政府関係者との会合では、西バルカンのEU加盟、BHの総選挙実施、ドイツのザラツィン・西バルカン担当特使の任命等について意見交換が行われた。

●ネーハマー奥首相のBH訪問(18日)

BHを訪問したネーハマー奥首相は大統領評議会3メンバー及びテゲルティヤBH閣僚評議会議長と会談し、二国間関係及びBHのEU加盟等につき意見を交わした。

●ギャラガー・バチカン外務長官のBH訪問(17日～20日)

ギャラガー・バチカン外務長官がBHを訪問し、大統領評議会3メンバー、トゥルコビッチ外相、ツビヤノビッチRS大統領と会談を行い、二国間関係及び西バルカン・BH情勢等について意見を交わした。

(3) 日・BH関係

●ボスニア・ヘルツェゴビナ空手連盟に対する在外公館長表彰の実施(3日)

伊藤駐BH日本国大使は、BH空手連盟に対し在外公館長表彰を実施した。同空手連盟は、BH国内代表選手の育成や大会の主催等、長年当地における空手の普及に努めてきた。



●伊藤大使とウナ・サナ県政府首相の懇談(7日)

伊藤駐BH日本国大使は、ウナ・サナ県を初めて公式訪問し、同県政府ルジュニッチ首相と懇談し、教育・医療・治安分野の協力及び日本企業の誘致等について意見を交わした。ルジュニッチ首相からは、日本の長きにわたる対BH支援に謝意が表明された。



●2021年度日本語能力試験(JLPT)合格者への認定書授与式(11日)

伊藤駐BH日本国大使は、日本大使館を来訪した2021年度JLPT合格者5名に対し、合格認定書を授与し、お祝いの手書きメッセージを手渡した。



(写真: 伊藤大使とJLPT合格者等)

●伊藤大使とオリンピック選手並びにスポーツ界代表との懇談(16日)

伊藤駐BH日本国大使は、昨年の東京オリンピックにBH代表選手として参加した、ラリッサ・ツェリッチ選手(柔道)及びネシャド・フシッチ選手(テコンドー)並びにブラニスラヴ・ツルノゴラツBH柔道連盟会長夫妻、サーミル・シャリッチとBHテコンドー連盟会長夫妻と、今後のスポーツ交流等につき懇談・意見交換を行った。



(写真: 伊藤大使とオリンピック選手等)

3. 経済

(1)経済政策・公共事業

●閣僚評議会による経済改革プログラム承認(24日)

BH閣僚評議会は臨時の電話閣議を実施し、2022年-2024年の経済改革プログラムを

承認した。本プログラムは欧州委員会のガイドラインに従い作成されたものであり、期間中のマクロ経済、会計枠組み及び構造改革等に焦点が当てられている。

(2)民間セクター

●中国による直接投資案件の署名(10日)

ウグリエビクにおいて、石膏工場(100人雇用予定)建設にかかる中国からの5000万ユーロ規模の直接投資に関する合意が署名された。工場建設の期限は2年。

●2021年度の対BH外国直接投資額、前年比22.1%増(31日)

BH中銀のデータによれば、2021年の対BH直接投資額は8億6990万KMとなり、2020年度に比べ22.1%増加した。

投資の増加に伴い、被雇用者の数も増加した。中銀は、BHの経済発展の遅れと依然として高い失業率のため、政府による投資環境のさらなる改善の必要性を指摘した。